

編集後記

本や雑誌で拾った言葉を紹介します。

“我々のカルテックの教授で、地震の専門家であったベノ・グーテンベルグも、時々アインシュタインとピアノを弾いていた。あるコンサートの後で私が、グーテンベルグはどうだったと、アインシュタインに聞いたところ、彼に合わせるのには難しかったとアインシュタインは答えた。「どういうわけだ。確かに地震学者には、独特のリズムがあるかもしれないが」と私は訊ねた。アインシュタインは笑って、「彼のリズムは正しいが、予期できないところがあるんだよ」と言った。”『大空への挑戦』（フォン カルマン著、野村安正訳、森北出版）より

“彼〔フェルミ〕がその場で即座に大まかな桁の評価を行う能力は伝説的であった。そしてしばしば意外な状況の下で、それをやってのけた。高名な同僚ザカラリアッセンが心臓発作で入院した。見舞いに現れたフェルミにザカラリアッセンは「1日1500カロリーしか食べさせてもらえないと訴えた。「ウィリー、君は探偵小説の愛読者だったね」と

フェルミは尋ねた。「そうさ」とザカラリアッセン。「ウィリー、死体が室温にまで冷えるのにどのくらい時間がかかるかな?」「4から5時間。」ちょっと考えてからフェルミは結論した。「それじゃ1日1500カロリーでは生きられないよ。」パリティ誌（2003年3月号）の記事『エンリコ・フェルミ、アメリカでの日々』（テレグディ著、藤井昭彦訳）より

“クレイは……次のマシンについての5年計画と1年計画の詳細を報告するように経営陣から求められたとき、彼は2行のレポートを書いた。「5年計画の目標-世界最高のコンピュータを作ること。1年計画-前記5年計画の5分の1を達成すること」『スーパーコンピュータを創った男』（マーレイ著、小林 達訳、廣済堂出版）より

“高名な植物学者である上に、非常に誠実で道徳的な勇気を持っていたクルチンスキー教授は抗議の辞職をし、大臣宛の手紙の中で、「発電所を破壊すれば一瞬にして暗くなります。しかし、もし大学を破壊すれば、暗闇は50年後に訪れるのです。」と言った。”『数学者の断想』（カッツ他著、竹内他訳、森北出版）より（陰山 聡）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章（推薦委員長：研究助成、男女共同参画委員長）	吉田 善章（推薦委員長：学会賞）
常務理事	室賀 健夫（総務委員長）			
理 事	浅野 克彦	安藤 晃	上田 良夫	
	内野喜一郎	小野 靖	甲斐 俊也（財務委員長）	
	草間 義紀（広報委員長）	久保 博孝	佐々木浩一（企画委員長）	
	白神 宏之（支部・地区研究連絡会委員長）	白谷 正治（研究部会連絡委員長）	豊田 浩孝（編集委員長）	
	波多野雄治	福山 淳（年会運営委員長）		
監 事	市村 真	森田 純子		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：豊田浩孝(名大) 副委員長：波多野雄治(富山大)

エディタ：金子俊郎(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員：安堂正己(原子力機構)、石澤明宏(核融合研)、稲垣 滋(九大)、太田貴之(名城大)、大西直文(東北大)、小田昭紀(千葉工大)、小田卓司(ソウル国立大)、陰山 聡(神戸大)、加道雅孝(原子力機構)、川崎仁晴(佐世保高専)、齋藤和史(宇都宮大)、清水昭博(核融合研)、白石裕之(大同大)、須田善行(豊橋技科大)、高橋俊樹(群馬大)、近田拓未(静岡大)、仲野友英(原子力機構)、沼田龍介(兵庫県立大)、比村治彦(京都工繊大)、松岡彩子(JAXA)、宮澤順一(核融合研)、森 芳孝(光産業創成大学院大)、森本泰臣(日揮)、八木重郎(核融合研)、八柳祐一(静岡大)、山本 聡(京大)、余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第91巻第9号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2015年(平成27年)9月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。